

北前船（安宅住吉神社）テーマ「北前船の祭礼について」

782年に創建され、1647年に、当時加賀藩だった石川県小松市安宅地区の現在の場所に遷座された安宅住吉神社は、神道において海と航海の神とされる三神を祀っています。一説では、これら三神は古くから航海の道標として使われた星座であるオリオン座の帯の三ツ星を神格化したものとされています。

安宅は18世紀から19世紀後半にかけて北前船の寄港地として発展しました。これらの商船は大阪から北海道まで至るルートで、瀬戸内海を横切り、本州の南側を抜けて日本海沿岸の北の港を経て定期的に往復していました。安宅住吉神社の本殿には北前船の珍しい絵が数多く飾られ、境内には1902年に嵐を逃れてここに避難してきた船長や船員たちが乗っていた船の錨が2つ展示されています。

現在も安宅住吉神社には、船員や漁師など海で生計を立てている人々が好天や航行の安全を祈願しに訪れます。海以外での人生の荒波も「順風満帆」に乗り越えられるよう祈願しに来る人もいます。毎年9月7日から9日まで例大祭が行われます。

安宅住吉神社

〒923-0003 石川県小松市安宅町 17

詳細情報はこちらまで ataka.or.jp

小松市内で開催されるイベントの情報はこちらまで explorekomatsu.com